

市政記者各位

平成 28 年 2 月 5 日
福岡市博物館

デュッセルドルフ美術館所蔵「アール・ヌーヴォーのガラス」 2 月 11 日（木・祝）開幕！ 同日 9 時から開会式を行います

下記のとおり、デュッセルドルフ美術館所蔵「アール・ヌーヴォーのガラス」を開催しますので、市民への広報にご協力いただきますようお願いいたします。なお、開会式後に、学芸員による展示解説も行いますので、ぜひご取材いただきますようお願いいたします。

記

1. デュッセルドルフ美術館所蔵「アール・ヌーヴォーのガラス」

ヨーロッパ随一のガラスコレクションで知られるドイツのデュッセルドルフ美術館に寄贈された実業家ゲルダ・ケプフ夫人のアール・ヌーヴォー期のガラスコレクション 135 点をドイツ国外では初めてまとまった形で公開します。

- (1) 会 期：平成 28 年 2 月 11 日（木・祝）から平成 28 年 3 月 27 日（日）
- (2) 休 館：月曜日 ※ただし 3 月 21 日（月・振替休日）は開館、3 月 22 日（火）は休館
- (3) 観覧料：一般 1,300 円（1,100 円）、高大生 800 円（600 円）、小中生 500 円（300 円）
（ ）は前売り、20 人以上の団体、満 65 歳以上の割引料金
- (4) 見 所：様々なコラボレーション企画を実施

- ①**特殊照明**：パナソニック株式会社の照明協力を受け、光の加減により作品の表情を変化させる特別ケースを一部に設置。同じ作品なのに違う雰囲気を楽しむことができます。
- ②**日本美術**：日本美術がアール・ヌーヴォーに与えた影響を実感できるよう、福岡市博物館所蔵の屏風などとのコラボレーション展示を行います。
- ③**動植物園**：「アール・ヌーヴォーのガラス」には動植物をモチーフにした作品がたくさんあり、福岡市動植物園の協力によるパネル展示を行います。また動植物園との相互割引も行います。

※詳細は別紙チラシ、ホームページ（<http://artnouveau.fukuoka.jp/>）を参照ください。

※毎週水・金曜日 13 時 30 分～14 時 学芸員によるショート・ギャラリートークも実施

2. 開会式

- (1) 日 時：平成 28 年 2 月 11 日（木・祝）9 時から 9 時 15 分
- (2) 場 所：福岡市博物館 グランドホール（1F）
- (3) 出席者：福岡市博物館長 有馬 学 ほか

※終了後に、学芸員による展示解説を行います。

ようこそ
ガラスの動・植物園へ



ART NOUVEAU GLASS
THE GERDA KOEPFF COLLECTION
FROM THE MUSEUM KUNSTPALAST DÜSSELDORF

■お問い合わせ先

福岡市博物館 学芸課 河口、末吉 管理課 岩佐、古藤

電話 092-845-5011 FAX 845-5019 〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1

ART NOUVEAU GLASS THE GERDA KOEPFF COLLECTION FROM THE MUSEUM KUNSTPALAST DÜSSELDORF

デュッセルドルフ美術館所蔵

アール・ヌーヴォーのガラス



Le vase !!

壺?!

〈台付蓋付花瓶〉
デザイン:パジュー・マルソー、パリ
制作:アペール兄弟、クリシイ
台と蓋:パニエ兄弟商會会スリエ・ド・クリスタル、パリ
1885-1889年頃
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf, Foto: Studio Fais-ARTOTHEK

2016 平成28年 2.11 - 3.27 福岡市博物館 Fukuoka City Museum
午前9:30～午後5:30 (入館は午後5時まで)
月曜休館 ※3/21日[月・祝祭日]は開館、3/22日[火]は休館になります。
★Audi 福岡中央は「アール・ヌーヴォーのガラス」展を応援しています。

■山田五郎さんアート・トーク

日時:2月13日[土] 14:00-15:00
会場:福岡市博物館 1階講堂
出演:山田五郎(編集者・評論家)
前売券:2,000円(自由席、一般鑑賞券つき)
前売券はセブン・イレブンのみで販売中
定員:240名

山田五郎プロフィール | 1958年、東京都生まれ。上智大学文学部在学中にオーストリア・ザルツブルグ大学に1年間留学し西洋美術史を学ぶ。卒業後、俳諧談社に入社「Hot-Dog PRESS」編集長、総合編集局担当部長等を経てフリーに。現在は時計、西洋美術、街づくり、など幅広い分野で講演、執筆活動を行っている。著者に「百万人のお民学」(講談社+文庫)、「知識ゼロからの西洋絵画入門」(幻冬舎)、「知識ゼロからの西洋絵画入門」(幻冬舎)、「ヘンタイ美術館」(ダイヤモンド社)など。「出立!アド街ック天国」(テレビ東京)、「ぶらぶら美術館」(BS日テレ)他レギュラー出演中。

■ワークショップ「ジェルキャンドルをつくろう」

開催日:2月20日[土]、3月12日[土]
時間:①10:30-12:00 ②14:00-15:30
場所:福岡市博物館 2階 多目的研修室
講師:有限会社マルティグラス
参加費:1,300円
*ガラス、ミミ硝子(1個)、カラーサンド、ガラスカレット(1個)、貝殻(2個)、ジェル、ろうそくの芯を含みます
*ミミ硝子追加に関しては、1個追加(300円)
定員:各20名(要事前申込)

応募方法
郵送、FAX、Emailのいずれかで受け付けます。ご希望の開催日・時間、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、参加人数(1件につき、最大2名まで受付可)を明記のうえ、下記までお申し込みください。
[申込締切] 2/20分 2月5日(金)必着 / 3/12分 2月26日(金)必着
[郵送先] 〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1
西日本新聞イベントサービス内「アール・ヌーヴォーのガラス」展係
[FAX] 092-731-5210 [E-mail] glass@nishinippou-event.co.jp
※2名で応募される場合は、それぞれの氏名を明記してください。※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。※当選者の発表は参加券の発送をもってかえさせていただきます。※ご応募の際にいただいた個人情報、本イベントの連絡にのみ使用させていただきます。

アート・トークとワークショップのお問い合わせは 西日本新聞イベントサービス内「アール・ヌーヴォーのガラス」展係 TEL: 092-711-5491(平日午前10時～午後6時)

■学芸員によるショート・ギャラリートーク

日時:毎週水・金曜日 13:30-14:00
会場:福岡市博物館 特別展示室
申し込み不要(ただし本展入場者が対象)

〈花瓶〈カコウ、マツヨイグサ〉〉
エミール・ガレ、ナンシー
1899/1900年頃
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf, Foto: Studio Fais-ARTOTHEK

主催 | 福岡市博物館、TVQ九州放送、西日本新聞社
後援 | ドイツ連邦共和国総領事館、福岡県、福岡県教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本リビング新聞社、cross fm、FM FUKUOKA、LOVE FM、西日本鉄道、九州旅客鉄道、一般社団法人日本自動車連盟福岡支部、一般社団法人福岡市タクシー協会、福岡商工会議所、西日本文化サークル連合、西日本新聞TNC文化サークル、福岡EU協会、西日本日独協会、在日フランス大使館/アンステイチュ・フランス西日本
照明設計協力 | パナソニック株式会社

協賛 | Audi福岡中央 Audi

〔交通のご案内〕
○市営地下鉄 博多駅から約13分、天神駅から約7分▶西新駅[K04]下車(1番出口)徒歩15分○西鉄バス 博多バスターミナル115-6のりばから約25分、天神バスセンター前1Aのりばから約20分▶博物館北口、福岡タワー南口、博物館南口下車徒歩すぐ○車 都市高速百道ランプより3分、無料駐車場(250台・大型バス10台・駐車可)
※土日祝や会期末は駐車場や周辺道路が混雑します。公共交通機関をご利用ください。

福岡市博物館 Fukuoka City Museum
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1 | TEL: 092-845-5011 | FAX: 092-845-5019
http://museum.city.fukuoka.jp/

コラボレーションを楽しもう!

ART NOUVEAU GLASS THE GERDA KOEPFF COLLECTION FROM THE MUSEUM KUNSTPALAST DÜSSELDORF

× 特殊照明

by パナソニック

パナソニック株式会社の照明協力のもと、光の加減によって作品の表情を変化させる特別ケースを一部に設置。ガラス作品の奥深さを味わうことができます。

透過光

反射光

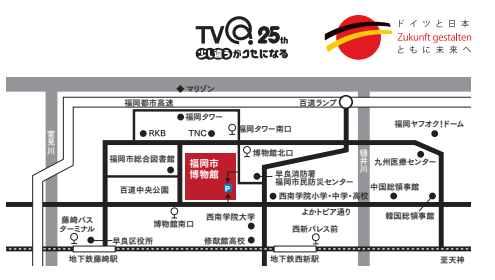
同じ作品なのに雰囲気がちがう!

ART NOUVEAU GLASS THE GERDA KOEPFF COLLECTION FROM THE MUSEUM KUNSTPALAST DÜSSELDORF

× 日本美術

アール・ヌーヴォーに影響をあたえた日本美術。本展だけでしかみられない館蔵品とのコラボレーションは必見です。なにがてるかは見てのお楽しみ。

観覧料
一般 1,300円 (1,100円) ※()内は前売り、20人以上の団体、満65歳以上(シルバーパス手帳等の年齢を証明できるものを提示)の割引料金。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳(以上の手帳を提示した人の介護者1人を含む)、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証を提示の場合は無料。
≫チケット取扱 | チケットぴあ (Pコード767-168)、ローソンチケット(Lコード84067)、セブン・イレブン、イーブラス
※会期中のチケットは当日料金での販売となります。※チケット購入の際に各プレイガイドによって手数料がかかる場合があります。



ヨーロッパ随一のガラスコレクションで知られるドイツ・デュッセルドルフ美術館。同館は1998年に実業家ゲルダ・ケプフ夫人によりアール・ヌーヴォー期のガラスコレクションの寄贈を受けました。

ケプフ夫人は、新居の室内装飾のために美しいガラス作品を購入したことをきっかけに装飾ガラスの奥深さに惹かれ、旺盛な好奇心によってガラス素材の特質や技法に関する知識を深めていきます。夫人の優れた鑑識眼によって収集されたガラス作品は、アール・ヌーヴォーの本質を体現する第一級のコレクションとなりました。

本展では、ウジェーヌ・ルソー、エルネスト・レヴェイエなど、パリのガラス工芸家たちの作品や、独特の生命観のある作風を開花させたエミール・ガレをはじめ、ドーム兄弟やミュレール兄弟、ポール・ニコラなどのアルザス＝ロレーヌ地方で生み出された作品135点をドイツ国外で初めてまとまった形で紹介します。

アール・ヌーヴォーって？

19世紀後半から20世紀初頭にかけて、ヨーロッパを中心に起こった芸術運動のことで、「新しい芸術」を意味します。曲線的、左右非対称、動植物のモチーフなどを特徴とするアール・ヌーヴォー様式は、日本や中国など東洋美術の影響を受けたものです。フランスにおけるアール・ヌーヴォー期のガラス工芸は、パリとアルザス＝ロレーヌ地方を二大拠点として花開き、ガレやドーム兄弟をはじめとするガラス工芸家たちによって数多くの作品が世に生み出されました。



がんばれカタツムリ！

《花器（ブドウとカタツムリ）》
ドーム兄弟、ナンシー
アンリ・ベルジェ（ナンシー）のデザインに基づく
1904年
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf
Foto: Studio Fais-ARTOTHEK

ホテイ・ド・フランス

《象の頭の飾付花器》
デザインおよび制作：不詳
販売：パニエ兄弟商会（エス・カリエ・ド・タリスタル、パリ）
1883-1885年頃
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf
Foto: Studio Fais-ARTOTHEK



虫だけに無視できない

《花器（甲虫）》
ドーム兄弟、ナンシー
デザイン：ドーム工房、ナンシー
1904/1905年頃
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf
Foto: Horst Kolberg-ARTOTHEK



禁断の花園*

《銀鍍金具付花器（オダマキ）》
ドーム兄弟、ナンシー
1898-1900年頃
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf
Foto: Studio Fais-ARTOTHEK



「コイ」してちょうだい

《花器（鯉）》
デザインおよび装飾：
アルクアンズ＝ジョルジュ・レイエン、パリ
1900年頃
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf
Foto: Studio Fais-ARTOTHEK

ガラス技法について

アール・ヌーヴォーが流行した時代は、科学技術の発展にともないガラスの素材や加工技術が飛躍的に向上しました。ガラス工芸家たちは、日々の研鑽の中で、高度なガラス技法の可能性を作品のなかに追い求めていきました。作品からは、デザインの美しさだけでなく、ガラス技法の変遷過程を深く知ることができます。



武士の魂ここに宿る

《大杯型花器（罌）》
エミール・ガレ、ナンシー
1900年頃
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf
Foto: Horst Kolberg-ARTOTHEK



ヒョウタンからトカゲ

《花器（トカゲ）》
ドーム兄弟、ナンシー
デザイン：エルネスト・レヴェイエ、ナンシー
1899-1900年頃
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf
Foto: Walter Klein



とろけちゃったのよ♥

《花器（リス、テン）》
デザイン：エルネスト・レヴェイエ、パリ
制作：パニエ兄弟（クリシ）と考えられている
1890年
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf
Foto: Horst Kolberg-ARTOTHEK



癒しのキノコたち

A.《方形花器（キノコ）》
B.《四足花器（キノコ）》
C.《鉢（キノコ）》
D.《鉢（キノコ）》
E.《花器（キノコ）》
ドーム兄弟、ナンシー
アンリ・ベルジェあるいはエミール・ワイルツ（ナンシー）のデザインに基づく
1907年
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf
Foto: Horst Kolberg-ARTOTHEK



火星人にはありません

《ランプ》
エミール・ガレ、ナンシー
1920年代
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf
Foto: Studio Fais-ARTOTHEK

ナルシズム 花言葉は「自己愛」

《花器（スイセン）》
ドーム兄弟、ナンシー
デザイン：エドモン・ラシュナル、パリ
1897年
©Museum Kunstpalast, Düsseldorf
Foto: Studio Fais-ARTOTHEK



いろいろな 動物・植物を探そう！

身近な自然をモチーフにしたアール・ヌーヴォーのガラス作品には、コイやタコ、チョウ、トンボ、ヘビ、カニなどの動物やモクレン、アヤメ、キクなどの植物が描かれています。いきいきとした生命の姿を探してみましょう。



ゲルダ・ケプフ・コレクション



©Foto Museum Kunstpalast

ドイツの実業家であるゲルダ・ケプフ夫人（1919～2006）が、1998年にデュッセルドルフ美術館に寄贈したアール・ヌーヴォー期のガラスコレクション。約30年にわたり収集されたガラス作品は、巨匠エミール・ガレをはじめアール・ヌーヴォーを支えた数多くのガラス工芸家たちの高度な技法が駆使されたもので、まさにアール・ヌーヴォーの本質を体現する第一級のコレクションといえる。ケプフ夫人の生家は、ドイツで感光性のゼラチンフィルムの製造を行っているGelita社。夫人の祖父が1888年に創業したドイツ内でも屈指の企業で、夫人自身



Museum Kunstpalast ©Foto: LVZ Zentrum für Medien und Bildung, Stefan Aernst